

第10回波賀中学校区 幼保一元化に係る地域の委員会

と き：平成28年2月9日（火）午後7時30分～

と ころ：波賀市民局2階 第2会議室

発言者	議題・発言内容
会 長	地域の委員会も8月から4回目となりましたが、前はちくさのこども園の視察を行い、その視察報告から意見交換をおこなっていきたいと思います。しかしながら、今のところまだ何も決まっていないので、今後の方向性を決定していくために、ご協力をお願いします。
事務局	<視察後の会議録の確認を説明>
委 員	「波賀幼稚園でも、親子が参加できる行事が、少し減っており」という部分は、ちくさのこども園のことを言っているので、訂正をお願いします。
委 員 事務局	「参観日が少なくなった」は、「なくなった」ではないですか。 市の方で確認した中では、保育の状況を見ることができる、オープンスクールは実施しています。
委 員	降園時間は変更することはできますか。
事務局	幼保一元化協議会の中で決定していく事項です。
委 員	降園時間について、国が定めている規定の時間はないですか。
事務局	国が定めている幼児教育には、降園時間の規定はなく、教育標準時間が午前中の4時間ということは決まっています。
委 員	お弁当日は、行事の時は別として、各幼稚園では決定権はありません。
委 員	降園時間は協議会で話し合っただけで決めたのが1時半ですか。
事務局	協議の段階では2時だったと思いますが、後は、杉の子の保護者と運営者で相談して運用をされているのではないかと思います。
委 員	運営協議会のメンバーは、どういう風に決められるのですか。
事務局	運営ガイドラインで定められており、地域、保護者、市、運営者の4者により、園運営を検証する場として設置しています。
事務局	4者協議会といいまして、見守っていく会として設置されています。
事務局	幼稚園の降園時間は1時半ですが、保育園部では、今のところ延長の希望がないため、6時半の降園となっていますが、協議の中では、延長の希望があれば、7時や7時半までの延長保育を実施するという事になっています。その場合、別途料金は発生します。
会 長	それでは、今後の進め方について相談させていただきたいと思います。視察により、こども園が少し分かったと思いますが、認定こども園を作るなら、波賀には私立があるので、実質2園を作ることは無理ではないか。公

	<p>立か私立かで話していても、一向に話が進まないのので、幼保一元化はある程度理解していただいたものとして、後ろ向きではなく、前向きに一人一人の意見を出してもらいたいと思いますが、その前に事務局から何かありますか。</p>
事務局 委員	<p><教育委員会としての今後の進め方についての説明> このまま進める訳にはいかないと思います。協議に移るまでに課題があり、まだ他に方法があるかを探っていきたいと考えます。他市では別の方法もあるみたいですし、認定こども園になることを反対している訳ではありませんが、このまま民営になることは理解しがたいと思います。</p>
委員	<p>千種を見せていただいて、お母さんの意見を聞く中で、すごく不安が大きいです。こどものことなので石橋を叩いてもっと慎重に考えていきたい。事務局から「試行錯誤」という言葉が出てくるぐらいの段階で、波賀もそうしようとはとても言えません。今から問題点が解決され、千種がもっとよくなっていくとは思いますが、その良くなった姿を見て、これなら安心してこどもをあずけられると思えた時に、一步を踏み出す方がいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>幼稚園側は公立でして欲しい、市は民間で進めていきたいということで、お互いが一方的になるのではなく、もう少し歩み寄りというか中間層で話せる場があってもいいのではないかと思います。建物のことは、危険な部分は何とでもなりますが、その前の内容の部分で見れば、今回のことで納得することはできません。千種と波賀では違うので、まだまだもっと地域の委員会で事務局側も歩み寄りができる体制が取れたらいいなと思います。</p>
委員	<p>見学させてもらって、こども園のお母さんの意見を聞いた段階では、発車してしまったものは後戻りができないという雰囲気、幼稚園が今までやってきたものが、こども園では実施してもらえないという一番不安な部分がある限りは、簡単にはこども園に踏み切れる状態ではないと思います。もっともっと検証して、一宮や山崎で作られたものを見て、それが良ければ、波賀が参加するかしないか、10年先に考えるにしても、こどものことなので、もっと大事に話し合っていくべきだと思います。</p>
委員	<p>こどもを保育園にしか預けたことがないので、幼稚園の状況等がよく分かりませんが、今の委員ではなく、これから先にあずける方々の意見をもっと取り入れた方がいいのではないかと思います。今集まっているグループは、自分のこどもの保育時期が終わっている状況なので、これから先に自分のこどもをあずけるにあたって、どうしたらいいのかという意見をアンケート等で集めていく必要があると思います。</p>

委員	将来性が全然見えていない状況で、このままで大丈夫かというのが率直な意見です。これから将来を担う子ども達のことなので、もうちょっと意見を交換して話し合いをするべきだと思います。
委員	保育園しかあずけたことがないので、幼稚園の仕組みとか、公立にこだわられている理由が分からないですが、みどり保育園にあずけているお母さん達は、保育園が好きであずけているのではなく、働きに行かないといけなないので、保育園にあずけるようにしていると思うので、これから認定こども園ができた時に、あずける小さい子どもをお持ちのお母さん達の意見をもっと聞いて欲しいです。
委員	こども園になれば幼稚園でしていたことがなくなるという不安は、逆に保育園でしていたことが、こども園になったらなくなるという不安もあります。みどり保育園も色々としてもらっているので、あえてみどり保育園にあずけている人もいますので、そういう不安はお互いにあります。これからあずける人の意見を聞かれるのもすごく大事なことだと思います。また、前向きに考えていくとすれば、千種の降園時間にしても、部屋を変えるとか、色々工夫をすれば、不安なことも一つ一つ時間をかけて除きながら進めていけると思います。
委員	メイプル福祉センターで子育て支援に来ている人は、幼稚園も保育園もあずけたことがないので、こども園のことを説明してもピンとこない。波賀にはこども園しかないから通わせるというのではすごく残念です。せっかく新しく作るのなら、子育て世代の人にアンケートを取り、いい案をたくさん取り入れて、波賀ならではのいいこども園ができればいいと思います。更には、移住者が増えるようなこども園ができたらいいいと思います。保護者の不安や不満が解消されてからこども園に入れたいと思います。
委員	上の子は4年生と5年生で、離れて一番下のこどもができて、もう一度考えると、色々話を聞いてみて今急ぐ必要はないと思います。こどもが減ってきているのは目に見えて分かるので、仕方ないことかとは思いますが、波賀で少なくなったこどもを、みんなで大事に育てないといけなと思います。大人が会議で考えて決めるので、少しでもいい園にして、波賀で始めるなら、試行錯誤などではなく内容を充実させて、スタートの時点で不安が本当はない状態でないとあずけるのに勇気が要ります。あずけてしまっから1年間でこども達が試されるような状態になるという不安もあります。今からこどもを初めて幼稚園保育園に入れる人と話をすると、どういものか分かっていない方もいて、気になるのは保育料がいくらとか、そういう感じなので、今からあずけようとするお父さんお母さんに、もっと説明をして理解してもらうことも必要で、そこで色々な意見が出る

委員	<p>と思います。急ぐ必要はないし、急げないと思います。</p> <p>子育てが初めての親には、幼児教育はなかなか分からないので、今まで経験がある人の意見を聞き、波賀にとってどんな施設、保育がいいのか慎重審議が必要です。みどり保育園と波賀幼稚園があるので、選べるという思いの中で市の広い子育てができるが、民間一園しかないとなるとそうはいきません。また、協議しながらやっていくということになれば、協議しながら進んだ今年の子はそれで終わりになるので、運営する者はそんな考えでスタートするのは、こども達に申し訳ないのではないか。以前、丹波市のこども園に視察に行った時に、民間に任されるまでに、幼児教育の公立の部分を担当するという研修をものすごくされていました。具体的には、公立幼稚園に 5 年間先生を派遣し、公立からも民間へ派遣されていました。教育委員会の指導主事の指導は、1 年目には 1 週間に 1 回、2 年目は 2 週間に 1 回、3 年目は 1 ヶ月に 1 回、4 年目にやっと学期に 1 回という風にずっと訪問されていて、その中で幼稚園の研修会にもできるだけ職員が参加し、園長先生の考え方が、公立を一手に引き受けるため、公立のノウハウを学ぶ姿勢を持っておられたので、そういう思いを熱く語られました。1 年や 2 年でできるものではなく、体制を作りあげるには時間が必要です。みどり保育園も幼稚園教育を学ばれているけれど、不安が消えないということは、まだ足りていないのではないのでしょうか。野尻幼稚園にしても、公立の幼稚園の先生は色々なノウハウを持っておられるので、3,4,5 歳児それぞれ 1 人で 3 人だけでも工夫をして良い教育をしてきたと思います。人数が少なくなる不安はあるけれど、公立であれば教育の工夫ができるので、「早く作らないと」という危機感よりも、じっくり考えることが大事だと思います。</p>
委員	<p>幼保一元化を進める 3 歳児教育は良かったけれど、今の時点で、場所や時期を考えるのはまだ早いと思います。他の地域の動きや状況を見て、少ないところからではなく、選択肢のある山崎の町中にモデル的なこども園を作って欲しい。人数が少なくなったからこども園しかないということだけは避けたい。しかしながら、小さいこどもを持つ人の中には、こども園を早く作って欲しいという意見があることを聞いて、時期は早いと言いながら、未組織の人からそういう意見が出ていることも無視はできないので、気になるところです。</p>
委員	<p>野尻幼稚園の保護者ですが、色々と工夫をして保育をしてもらっていたので、本当に楽しく通わせていただきました。人数が少ないから早くするという段階ではないと思います。また、千種も運営協議会がまだ 1 回しか開かれていない様な状況で、波賀もどうですかと言われても納得できませ</p>

副会長	<p>ん。もう少し回りを見て、色々な考え方を取り入れながら話し合いを進めていけばいいと思います。</p> <p>委員それぞれの思いが伝わってきました。公立、民間というのではなく、中身の問題で、市当局の説明が足りていない。こども園は、作りながら内容を考えていかなければ、全て解決してから進めるのでは、いつまでたっても作れない。また、今日の話し合いでは、具体的にどうして欲しいという中身が見えてこない。考えても今の状況では、先が見えにくくなってきているので、31年度に開園をめざすなら、施工に入ってからでも、何回も中身のことを詰めて協議を重ねるべきだと思う。</p>
事務局	<p>皆さんの不安はよく分かりました。しかし、問題を全てクリアしてから進むのは難しいです。他のモデルではなく、自分たちがどうしてももらいたいか、波賀モデルとして作り上げていきたいと思います。今からの世代に決めて欲しいという意見もありましたが、未経験の人ではなかなか難しいのでこの委員会で協議をお願いします。波賀幼保の委員会が4年間進み中で、こどもの人数は大きく減っています。教育委員会としては、民間の経営となりましても必ず支援はおこなっていきます。</p>
会長 事務局	<p>今の方針の進め方を見直す方法はありえますか。ないですか。</p> <p>幼保一元化を分けてという方法は考えておらず、幼保連携で進めていきたいと思います。</p>
会長	<p>公立、民間、それぞれに良い所があり、公私連携で進めてもらおうと、園側には支援がありメリットがあると思います。ここで提案ですが、今後、この委員会で、お互いの理解を進めていけるよう、千種の不安を解消しながら幼保の連携について進めていけないでしょうか。</p>
事務局	<p>教育委員会としては、現在も幼保連携は実施しており、今後も一層進めてもらいたいと考えています。</p>
委員	<p>本当の交流はできていません。こどもの交流ではなく先生同士の交流、保育の内容、園長の考え方などの研修が必要で、そこには教育委員会も入ってもらいたい。</p>
事務局 委員 事務局	<p>職員同士の交流や連携も強化していきたいと考えています。</p> <p>公立のこども園を作れば人事交流ができるのではないですか。</p> <p>人事交流、連携はおこなっています。千種も杉の子から職員を派遣してもらい、幼稚園で担任を受け持ち、こども園になってからも同じクラスの担任をしてもらっています。</p>
会長	<p>千種の例も参考に、課題解決に向けて努力をして、不安を解消できる場ができるかどうかだと思います。</p>
委員	<p>委員が言われた幼稚園と保育園の根本的な違いとは、具体的にどういうと</p>

	<p>ころですか。</p> <p>保育園は保育に欠けるこどもを保育する施設で、幼稚園は子育てをしながら幼児教育をおこなう施設です。保育園でも教育はできますが、基本は保育となるので、子育てを楽しみたい幼稚園の親には不満となっています。</p> <p>今の段階で、決を採る状況ではないので、課題を解消していく会にしていきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>それは、今後も民営ありきで進めていくのですか。</p> <p>官民に関わらず、幼稚園と保育園で機能の違う施設が一つになるとおこる問題で、作るとすれば、どの様なこども園がいいかという話を進める上で、どうしたらお互いに納得のいく話し合いができるかということです。</p> <p>以前から、幼稚園、保育園それぞれで満足しているのに、なぜ急ぐのですか。千種幼稚園からこども園に入った保護者の意見を聞いて、幼稚園の今までされてきた部分があまりにも欠けていると思いました。波賀の保護者が一元化をして欲しいと思った時に協議したらいいのではないのでしょうか。それに、民営ありきで話し合うのは納得できません。</p> <p>公立と私立の問題は別として、先に一元化をすることが考えられるのであれば、今、問題の解決について話し合い、こども園を作るならどんな施設がいいかという話し合いができないのでしょうか。</p> <p>一緒になれば問題があるのであれば、同じ敷地内に幼稚園と保育園を隣に建てるとか、他の県ではこんな事例があるとか、色々な方法を捜して意見を言ってもいいのなら意見を出しますが。</p> <p>0～2才児は保育園部、3～5才児は幼稚園部で幼児教育を受けて、その後は隣の保育園部に移動するという方法もあると思います。</p> <p>なぜ民営化を進めているかというのと、民間を圧迫するということもあります。財源についても、大きな考え方の一つでもあります。民営なら、国県の補助が受けられ、将来的にも安定した園運営ができますので、経営主体が2つになるということは、経費もかかりますし、お金だけの問題ではありませんが、それも重要な問題です。</p> <p>市は、「こどもは宝」と言っているのに、市の財源をこどもに使えないのですか。</p> <p>市の財源だけではなく、国の補助金も市民のお金です。その財源を有効に使うということは重要なことです。</p> <p>先ほど、こども園の幼稚園部の見送りができていないということですが、3,4,5才児は単独で担任を配置し、午後からは代替えの先生を市の補助で配置していますので、仕組み的には今の幼稚園の先生と同じ対応ができます。</p>
委 員	
会 長	
委 員	
会 長	
委 員	
会 長	
委 員	
事務局	
委 員	
事務局	
事務局	

委員 事務局	それを公立でやったらどうですかということです。 市としては、民間をつぶす訳にはいかないですし、杉の子会も理事に学校の先生だった方も入っておられますし、幼稚園の園長も派遣していますので、9月から新しい園舎でのスタートだったので、見に行っていたいたのがまだ早かったのかもしれませんが、確実に学習の成果は得られています。
委員	子育てグループで市長との意見交換会があり、千種のこども園のことを聞くと、保護者はみんな喜んでいてと言われていましたが、実際本当かどうかが分からないので、杉の子こども園の保護者の意見を聞いてみたいです。また、他の市の意見も聞いてみたいです。それと、こども園になれば職員はどうなりますか。1人だけ派遣されても遠慮してしまうのではないですか。
事務局 事務局	運営協議会でも保護者の意見を聞いていきたいと思います。 千種での不安なところもありますが、波賀では解消できる部分もあります。方向性を出してもらえるのなら、連携のための予算措置もできて、職員も波賀なりの方法を考えていきます。
会長	同じお金を出すにしても、国県の補助があるので、配置もしやすいのではないのでしょうか。今日は、これからの方向性を決めて終わりたいのですが、すぐに決める雰囲気ではないので、委員会は継続しながら、ペースをおとしていきたいと思いますが、いかがでしょうか。
委員	年度が変われば委員のメンバーはどうなりますか。各団体の中での委員の交代はあるのでしょうか。
事務局 委員	団体の中で協議して決めていただければいいです。 4月になれば新しい役員さんになると思うので、委員が変わっても、今のメンバーと新しいメンバーで合同の引継ぎ会議を実施してください。
副会長 事務局	今回の委員会が再開した時に、聞いていないことがたくさんあったので。それは大事な事で、引継ぎで予め流れを知っておくべきだと思う。 委員が、「今しなくてもいいのではないか」と言われましたが、今、0歳児が10人と1歳児が13人で、平成31年には1歳児が5才児となります。その時に幼稚園と保育園で5人ずつという様なこととなります。
委員 事務局	今とそんなに変わらないと思いますが。 今日示させていただいた平成31年という目標は、人数が減るその当たりの中にもあるので、委員会を継続していくという方向の確認を、3月中にさせていただけたらと思います。
会長	継続はしていく確認は取れているので、3月に協議する議題があればいいのですが、今日の感じであれば何も進まないと思います。

委 員	新しい人と話し合いをする時には、今回の凍結が再開した時みたいに話が飛ばない様に、新旧の委員が並んで話をする場を必ず持ってください。
副会長	問題を全て解決してから建物を作るとなると、いつまでたってもこども園ができないので、建設しながら話し合いを進めていくということも一つの方法ではないか。
委 員	3 月中に集まっても同じ話になるだけで、決めることは無理だと思います。継続して協議をしていく中で、千種のこども園の保護者の意見も聞きながら進めていくべきだと思います。
事務局	確認したいのですが、こども園を進めるということについては了解ということで、その過程の段階で不安があり、それを解消していくのに時間が必要ということでしょうか。
委 員	こども園を進めるのではなく、こども園を進めるかどうかについても、他の方法がないのか、私達はもっと色々なことを知りたいのです。このこども園の形がいいのかどうかも分からないのに、これしかないと言われると厳しいです。こども園の歴史もまだ浅く、全国的には、他にもいい方法があると思いますし、新しい形もできてくると思います。
事務局	これしかないという訳ではなく、千種と同じ形ということも波賀では言っていないし、波賀モデルのこども園を進めるという意味です。
委 員	波賀モデルというのは、先ほど意見があった、同じ敷地内に公立の幼稚園があつて、保育園と連携をしていく、新しい波賀の形を作ってもいいということですか。
事務局	それは難しいです。
事務局	公立の幼稚園と私立の保育園を一緒に作るとなれば、今と状況は変わらないので、市が進める認定こども園は、公私連携という形で公立の教育を引き継げる様に、千種よりももっとこうしたらどうかと、この中で話し合っていこうとしているのです。運営が社会福祉法人となりますが、自分達が理解できるこども園を作っていければいいと思います。
委 員	それは分かるので、次に波賀ではなく、次に一宮や山崎にして、そういうところを見ながら、次のお母さん達も次のところを見に行き、納得した上で新しいこども園ができるのであればいいのですが、この話し合いの中では、すぐ作りたいという意見ではありません。
事務局	一度にできる訳ではないので、仰ることも分かりますが、平成 24 年に立ち上げて、25 年 6 月に凍結する中では、千種を見ようということで、千種ができれば、再開して色々話し合いができるだろうという経緯があります。しかしながら、この状態ではもっと時間をかけてもいいという意見もありますが、市としては具体的な話をしながら進めていきたいという思い

事務局	<p>があります。一方では、山崎の方でも進めていかなければならない責務もあります。</p>
会 長	<p>千種の次は波賀と決めている訳ではなく、31年4月というのは、一宮北、一宮南中学校区も、同じ様に提案させていただいています。</p>
事務局	<p>教育委員会が急ぐというのは、こどもの数が大きく減ってきている状況で、できれば一年でも早い設立という思いからだと思うのですが、今日の意見を聞いた中では、「進みましょう」とはいかないので、他の方策がないかということもこの状況では難しいと思います。新たな議題がなければ、次回の委員会は5月頃に開催したいと思います。</p>
副会長	<p>議題があれば、会長副会長と相談して、委員会を開催できればと思います。</p> <p><閉会のあいさつ></p>